

	がん生存者の子供 (6,129名)		患者兄弟の子供 (3,101名)	
	症例数	頻度	症例数	頻度
染色体異常	7	0.1%	6	0.2%
メンデル遺伝病	14	0.2%	8	0.3%
奇形	136	2.2%	97	3.1%
計	157	2.6%	111	3.6%

※がん生存者の生腫腺平均線量は、女性1.26Gy、男性0.46Gy

出典：Green DM et al. J Clin Oncol Vol.27, 2009: 2374-2381. より作成

© 2009 American Society of Clinical Oncology
 Green DM et al. Journal of Clinical Oncology 2009 27:14, 2374-2381
<https://ascopubs.org/doi/10.1200/JCO.2008.21.1839>
 Wolters Kluwer Health, Inc. and its Societies take no responsibility for the accuracy of the translation
 from the published English original and are not liable for any errors which may occur.

この表は、米国 / カナダの小児がん治療生存者の子供に対する調査結果です。原爆被爆二世調査と同じく、染色体異常、メンデル遺伝病、奇形の過剰発症は認められません。マウスの遺伝性影響研究を元に、ICRP は、放射線による遺伝性疾患の倍加線量を1グレイと評価していますが、この調査結果は、生腫腺の平均線量から予測される染色体異常やメンデル遺伝病の増加を示していません。

出典

- D.M. Green et al.: J. Clin. Oncol. 27: 2374-2381, 2009.

本資料への収録日：2018年2月28日

改訂日：2019年3月31日